

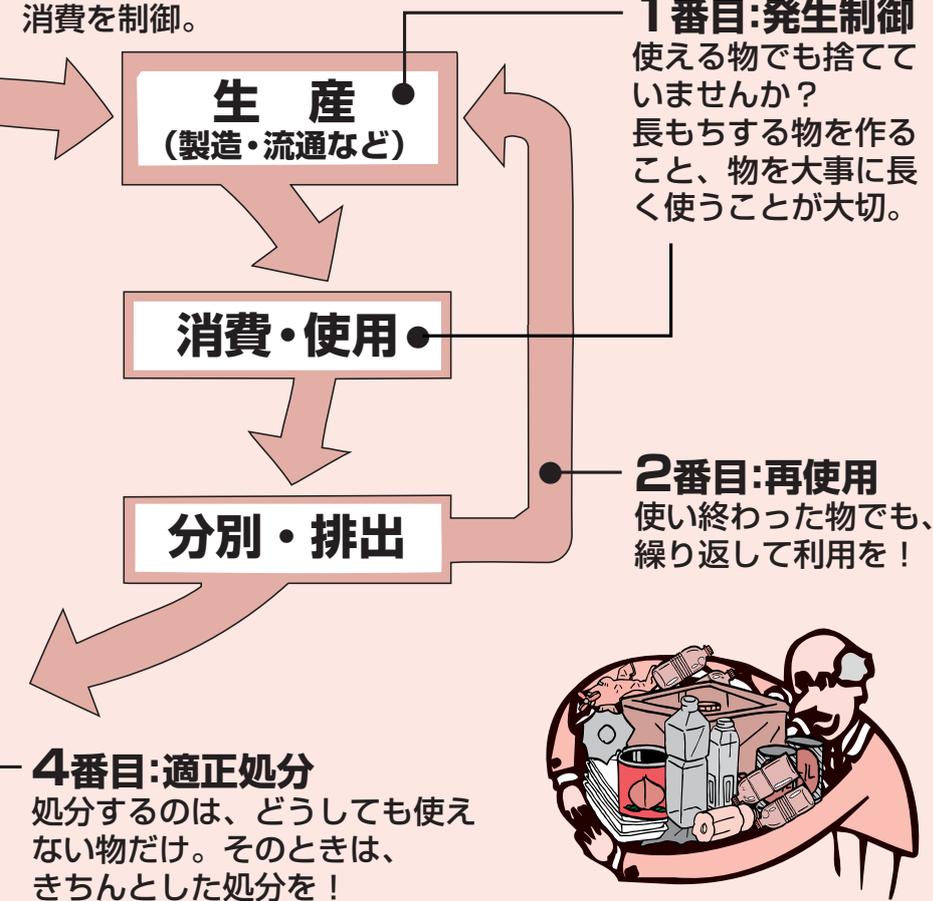
特集

始めよう！

ごみを出さない暮らし方

〜みんなのでつくる循環型社会〜

経済活動での天然資源の消費を制御。



これまで、わたしたちは豊かさや便利さを求めてたくさん
の資源やエネルギーを使い、たくさん物を作り、たく
さんの物を捨てるという『大量生産・大量消費・大量破
棄』型の生活様式で暮らしてきました。
豊かさや、便利さは歓迎すべきものですが、それと引き
換えに『いらなくなったら捨てる』というように、多くの
物が使い捨てられてきました。
しかし、資源には限りがあります。
わたしたちが、これからも豊かで便利な生活を続けてい
くためには、資源を無駄にしない『使い捨て』型から『循
環』型へと生活様式を見直す必要があります。
今月号では、『使い捨て型社会』から『循環型社会』へ
向けた取り組みなどをお知らせします。

『使い捨て型社会』から『循環型社会』へ

ごみを減らすということは、物の
使い捨てを無くし、資源を大切に使
うということです。

わたしたちがごみとして捨ててい
る物の中には、まだ使える物や資源
として利用できる物がたくさんあり
ます。

すぐに捨てるのではなく、何度も
繰り返して使ったり、修理したりし
て、できるだけ長く使う。その後、
使えなくなったら、別のものを作る
資源として利用する。資源として利
用できなかったらエネルギーとして
利用する。そして、どうしても使え
ない物だけをごみとして適正に処分
するというように、物の使い方と使
い終わった後の流れを変えていくこ
とが必要です。

使い捨て型社会は、資源の一方通
行にしかありませんが、使い終わっ
た物を再利用すれば、資源は何度も
循環され、本当に使えない部分しか
『ごみ』になりません。

循環型社会 実現に向けて

- 一つの物を長く使い、生産や消費を抑え、ごみを減らしましょう (リデュース)。
 - 不要になった物を必要な人に譲ったり、ボトルを詰め替え式で何度も利用したりして、再使用しましょう (リユース)。
 - 廃棄する場合、資源として再生できるものはきちんと分別をしましょう (リサイクル)。
- これらを実行することにより、資源の循環を実現することができます。美しい自然を守ることができます。